

ウクライナ戦争。毎日情報更新。第119日

EU候補国のステータスに向かう途中 ウォロディミル・ゼレンスキー大統領は、イスタンブール条約の批准法案に署名しました。「署名しました！イスタンブール条約の批准法案。その内容はシンプルですが、非常に重要です。暴力やあらゆる形態の差別から女性を守るコミットメントです」とゼレンスキー大統領が発表しました。

外交政策 欧州連合(EU)首脳会議は23日、ウクライナを「**加盟候補国**」として正式に認定する見通し。欧州委員会はウクライナを加盟候補国として認定するよう勧告しており、ブリュッセルの首脳会議で勧告が承認される見通し。

ウクライナのウォロディミル・ゼレンスキー大統領はルクセンブルクのグザヴィエ・ベッテル首相がキーウ市を訪問した後、ルクセンブルクの大公国は防衛予算の15%をウクライナ軍を支援するために割り当た**と述べました**。

攻撃を受けている都市 副国防相のハンナ・マリヤルによれば、ロシアの指導部が6月26日までにルハンシク州の行政境界に到達することを要求しているため、激しい戦いがセビエロドネツクとリシチャンシク周辺で起こっています。

ドネツク州のチャソフヤールのビーチが砲撃を受けた結果、1人が死亡し、11人が負傷しました。負傷者の中には6人の子供がいます。ロシア軍はザポリージャ州を砲撃しました。砲撃の結果、ユーリウカ村では学校と多くの民間施設が破壊されました。今晚、ハルキウ市は誘導ミサイルで砲撃されました。大学と地下鉄の駅は破壊を受けました。その結果、3人の民間人が殺害され、7人が負傷しました。ハルキウ大学が復旧できない状態です。6月21日のハルキウ州が受けた砲撃の結果15人の民間人が死亡し、16人が負傷しました。スーミ州のクラスノポリアはドローンに襲われました。4人が負傷し、2人が重篤な状態で入院しました。

占領を受けている都市 占領下のメリトポリ市長はロシア占領者は死刑を導入することを提案した**と言いました**。市長によれば、司祭と活動家の誘拐が続いています。

戦争犯罪 PACE代表団はロシアの戦争犯罪の生存者とウクライナで会う予定です。法務と人権に関する委員会を代表する欧州評議会の議員の代表団が来週ウクライナを訪問する予定であるとウクルインフォームは報告しています。

食料安全保障 メディアによれば、トルコは、現在黒海の港で停滞している穀物の輸出を再開することを目的とした、今後数週間の会談のためにロシア、ウクライナの会議を開催する計画している。**ロイターによれば**、イスタンブールで予定されている会議の前に、トルコの防衛代表団がモスクワを訪問し、黒海で安全な海の回廊の可能性の詳細について話し合う予定です。

エネルギー安全保障 先週、ロシアはヨーロッパへのガスの配送を大幅に削減しました。ロシアからの化石燃料の最大の購入者の1つであるドイツは、冬の備蓄を強化しながら、ガス需要の削減を目指しています。経済相のロベルト・ハーベックは、ノルドストリームを通じたガスの供給を削減することはロシアの政治的な動機であり、市場を不安定にすることを目的としている**と述べました**。そういう決定は、ドイツだけでなく、フランス、イタリア、オーストリアへの配送にも影響を与えています。ロシアのガス輸出独占の「ガスプロム」は、エネルギー会社がルーブルで支払するのを拒否した後、ポーランド、ブルガリア、オランダ、フィンランド、デンマークにすべての配達を停止しました。

一部の国は石炭火力発電所を起動することを計画しています。ポーランドは、家庭用暖房に使用される石炭への補助金を目指しています。オランダは月曜日に、4つの石炭火力発電所からの生産を制限するという以前の計画を破棄することを決定しました。イタリア政府は火曜日に危機会議を計画しておます。ビロルIEA事務局長は終了後の記者会見で、「全ての加盟国がロシア産の石油とガスの輸入を徹底的に減らすという唯一の目標を持っていた」と**強調しました**。

サイバーセキュリティ 国連安全保障理事会で、Google経営者であるジャレッド・コーエンは、ウクライナが受けているサイバー攻撃、偽情報、その他の情報戦は、他の場所での将来の問題の「水晶玉」であると警告しました。「アメリカは、音量を下げ、サイバードメインに対するいわゆる抑止ドクトリンで落ち着く方法を見つけなければならない」と彼が**発言**しました。

制裁 ウォロディミル・ゼレンスキー大統領は、リトアニアに対するロシアの最新の脅威とエネルギー供給に対する侵略者の圧力が、ロシアに対するEU制裁の第7パッケージの採用の論点であると信じています。EU首脳会議のために準備されたコミュニケ草案は、ウクライナとへの侵略に 대응するロシアに対する制裁の7番目のパッケージについて**言及**していなかったと報告された。6月21日、欧州連合は、ウクライナ侵攻に対するロシアに対する制裁の7番目のパッケージの一部として、**ロシアの金に制裁を課すこと**を検討していると報告されました。今週初め、ポーランドは、ルクセンブルクでのEU外務大臣会合に先立ち、制裁の新しいパッケージを導入するよう**求め**ました。ポーランドが提案した新しいパッケージには、いわゆるデュアルユース商品を含むロシアへのヨーロッパの技術の輸出を停止することが含まれます。

アイルランドは、2月のウクライナへの攻撃を受けて、制裁対象のロシアの個人および団体に関連する172万ユーロの資産を**凍結**しました。

ガスプロム、ルコイル、ルサルなどのロシア企業のロビイストは、EU理事会の行動を受けて、EUの政治家や政策立案者に売り込み資格を失う過程にあるとPoliticoが**報告**しています。[ロシアのエネルギーロビイストは、プーチンの戦争機械のセールスマンです。それらを禁止することは、私たちのウクライナの友人を支援し、私たちの政治におけるロシアの影響力を終わらせるために不可欠です]と欧州

緑の党のドイツの政治家ダニエル・フロインド氏が言いました。

欧州原子力研究機関(CERN)は、2024契約が満了した後、ロシアとベラルーシとの協力を停止することを決定しました。

世論調査 2022年6月18～19日に社会学グループ「Rating」が実施した第13回戦争全国調査の結果によると、回答者の75%が、ウクライナの状況は正しい方向に進んでいると考えています。回答者の93%は、ウクライナがロシアの攻撃を撃退できると信じています。回答者の過半数(67%)は、ロシアを倒すには少なくとも6か月以上かかると考えています。回答者の87%は、国民投票の場合、ウクライナの欧州連合への加盟を支持します(反対は4%、投票しないのは8%)。EU加盟への支持は、すべてのマクロ地域と年齢層の代表者の間で満場一致です。回答者の69%は、ウクライナが5年以内にEUに加盟できると考えています(40%は1～2年以内、29%は最大5年)。他の14%は、ウクライナが今後5～10年でEU加盟国になると考えており、3%は10～20年で加盟すると答えています。ウクライナが欧州連合に統合されると信じていないのはわずか7%です。ウクライナのNATOメンバーシップのサポートも増加しました。国民投票の場合、76%がウクライナのNATOメンバーシップをサポートします。

メディア 国境のない記者(RSF)は、2022年5月24日から6月3日までウクライナで実施された調査の過程でこの報告の基礎となる証拠を収集しました。RSFは証拠をウクライナの司法当局に引き渡し、この報告書のコピーも提供します。RSFによって収集された証拠は、ウクライナのフォトジャーナリストであるマクス・レビンと一緒にいた友人が、おそらく尋問され拷問された後、2022年3月13日、行方不明になった日にロシア軍によって冷血で処刑されたことを示しています。レビンの遺体と車は、4月1日、キーウの北の最前線にある森で発見されました。

アソシエイテッドプレスのジャーナリストであるムスティスラフ・チェリノヴと、フリーランスのフォトジャーナリストであるイエヴヘン・マロレティカは、DeutscheWelleからスピーチの自由賞を受賞しました。スピーチの自由賞は2022年2月に困惑した都市マリウポリからのロシアのウクライナ戦争に関する記者の報道を称えるものです。彼らのレポート「マリウポリでの20日間」は、包囲されているマリウポリのユニークな説明を提供しています。市内に残された最後のジャーナリスト、チェルノフとマロレティカは、マリウポリの産科病院の死、荒廃、爆撃を記録しました。

読書コーナー

- [Pacifism is the wrong response to the by war in Ukraine by Slavoj Žižek | The Guardian](#) – ロシアの戦略計画は、地球温暖化から利益を得ることです。世界の主要な輸送ルートを管理し、さらにシベリアを開発し、ウクライナを支配することです。このようにして、ロシアは非常に多くの食料生産の優位を拡張し、全世界を脅迫することができるようになります。これは、プーチンの帝国の夢の下にある究極の経済的現実です。
- [The Rashists from Mordor vs. the Tractor Troops: Ukraine's new language of war | Politico](#) – ウクライナ語のスラングの英語ガイド

総計情報

- 検察庁によれば、6月22日、592人以上の子供が負傷しました。敵対行為が続いている地域での死傷者は含まれていないため、この数はさらに高くなると予想されます。
- ウクライナ軍参謀本部は2022年6月22日午前10時現在のロシア軍の推定総損失を発表しました: 人員約34,230人、戦車1496台、装甲戦闘車両(APV)3,614台、砲兵システム752台、多連装ロケットシステム(MLRS) 239台、対空戦システム99台、固定翼航空機 216台、ヘリコプター 182台、軽装甲車2,543台、ボートおよび軽装ボート14台、運用戦術レベルUAV614台、特殊装備55台、移動式短距離弾道ミサイルシステム137台。

すべてのアクションが重要であり、あなたの貢献が小さすぎることはありません！

- [PLASTベルリン](#)(スカウト組織)を支援してください。PLASTベルリンは募金活動して、ウクライナで提供される医療用バックパックと救急箱を購入したり、準備したりします。
- ここに旅行したことがあるか、友達がいるかに関わらず、ウクライナについてのストーリーを共有してください。ウクライナに関する情報を広めてください。
- [Twitter](#)と[Web](#)サイトで毎日アップデートを読んでください。

ウクライナをご支援いただきありがとうございます！ Slava Ukrainiウクライナに栄光あれ！